

第 9 回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス：小児科領域感染症に関する研究のお知らせとお願い

当院こどもセンターでは下記の研究を実施しています。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

研究課題名

第 9 回三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス：小児科領域感染症に関する研究

研究の対象

小児科外来を受診または小児病棟（2 南病棟）、新生児病棟（NCU・GCU）に入院した呼吸器感染症（気管支炎、肺炎）、髄膜炎、敗血症の小児患者で、診断のために細菌検査（後鼻腔、喀痰、髄液、血液培養）を行い、以下の 6 菌種が分離された小児患者を対象とします。

呼吸器感染症：Streptococcus pneumonia, Haemophilus influenzae, Moraxella catarrhalis
髄膜炎、敗血症：Streptococcus pyogenes, Streptococcus agalactiae, Escherichia coli, pneumonia, Streptococcus pneumonia, Haemophilus influenza

研究の意義・目的

当センターを含め全国の 30 施設が参加し、小児の呼吸器感染症、髄膜炎、敗血症患者より分離された原因菌に対する各種抗菌薬に対する各種抗菌薬の感受性を測定し、患者背景別、地域別の分離菌分布及び感受性推移を経年的に検討することを目的とします。

研究方法

呼吸器感染症（気管支炎、肺炎）、髄膜炎、敗血症の小児患者の臨床材料（呼吸器感染症では上咽頭ぬぐい液、喀痰、血液、髄膜炎では髄液または血液、敗血症では血液）から分離された上記の 6 菌種を収集します。

患者背景を調査するために、電子カルテから以下の情報を収集します。年齢、性別、入院・外来の別、感染症疾患名、ワクチン接種の有無、兄弟の有無、集団保育の有無、1 ヶ月以内の抗菌薬前使用の有無。個人が特定される情報は収集しません。

臨床分離株と患者背景情報は匿名化し、北里大学感染制御研究センターに送付し、臨床分離株に対する各薬剤の MIC、Haemophilus influenzae の血清型（type b の有無）、 β -lactamase の産生能を一括測定しデータを解析します。

研究期間

2017年6月1日～11月30日

連絡先

本研究に関してご質問等がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

住所：〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3211

電話番号：045(474)8111

横浜労災病院こどもセンター長 城 裕之